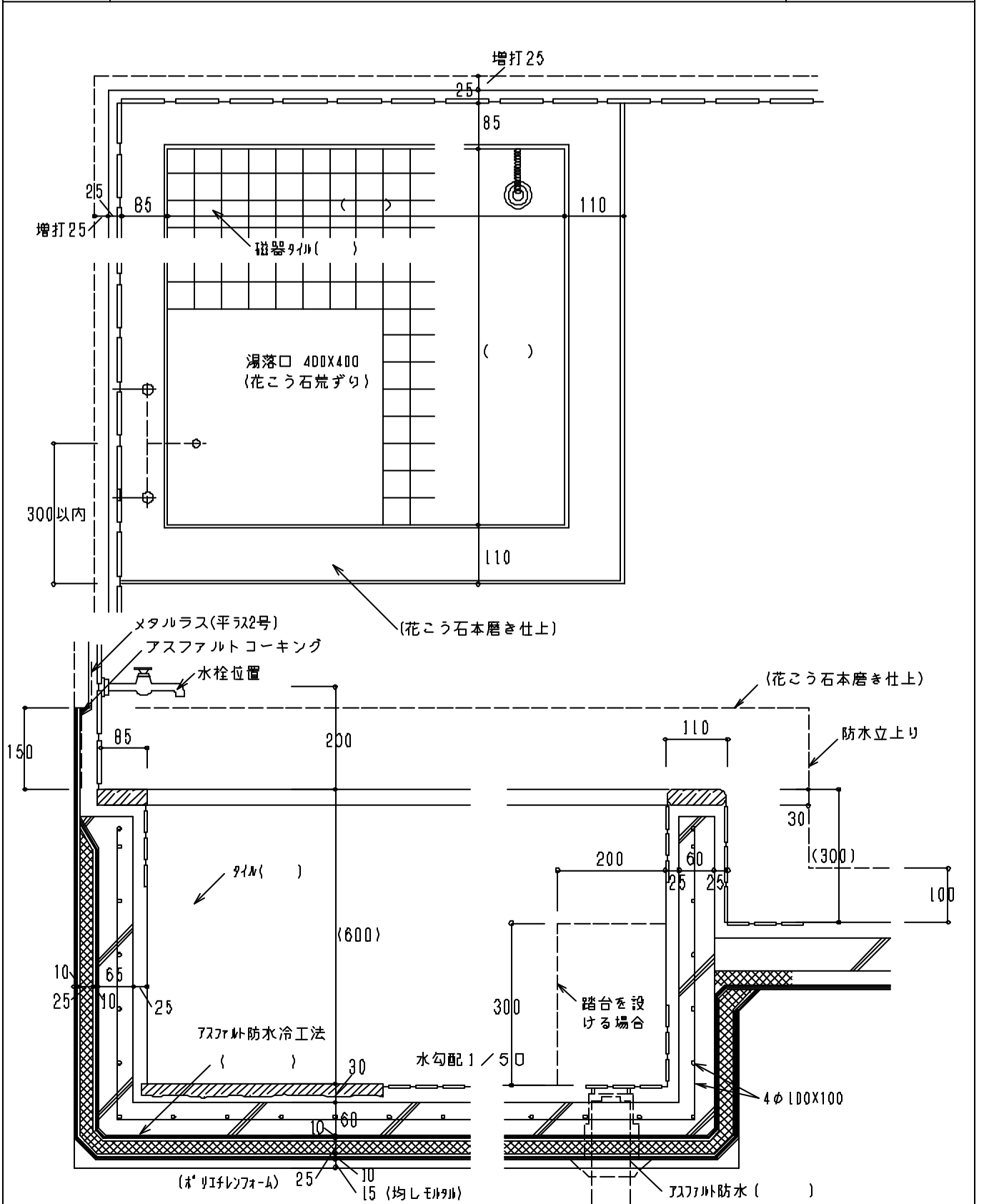


- 適用範囲 □ 集合住宅以外の場合
 注意事項 □ 浴槽の仕様（ホーロー、ステンレス、ポリ）、エプロンの勝手及び蓋の有無を明記する。
 □ 浴槽の蓋は、強度かかり代を検討して選定する。
 □ 浴室入口幅と浴槽の寸法を確認すること。
 □ 防水は下部が土間の場合はセメント防水とし、下部に室がある場合はアスファルト防水とする。
 □ 浴槽周りの防水範囲は、浴槽から150mmとする。



- 適用範囲 □ 洗い場に給水・給湯カランがある場合。
 注意事項 □ 浴槽最小寸法は、内法600mm×700mmとする。（踏台を設ける場合は踏台幅をのぞく）
 □ 湯落口周辺は、熱湯による剥離防止を考慮して花こう石張りとする
 □ 防水は下部が土間の場合はセメント防水とし、下部に室がある場合はアスファルト防水とする。
 □ 水抜栓は浴槽外より容易に操作できる位置に設ける。 □ 断熱材は吸水率の低い材料（スタイロホームGK程度）とする。 □ 大浴槽の場合は給湯方式（カラン形状）を検討して決める。